

第 66 回未来医療セミナー

2011.12.14 18:00~19:00

大阪大学医学部講義棟 B 講堂

質量顕微鏡法

浜松医科大学医学部解剖学

(兼) メディカルフォトンクス研究センター

瀬藤 光利

細胞を観る、読む、測ることを考える。観るのは形態であり主に形態学、読むのは核酸の情報であり主に分子生物学、測るのは酵素活性や質量であり主に生化学から、古典的にはアプローチされてきた。しかし生命を捉え理解するためには、それらは将来統合されるべきものではないだろうか。そうした発想から、演者らは質量分析によって細胞を“測る”ことを二次元化することでメタボローム、リピドーム、プロテオームの分布を組織レベルで“観る”方法を開発している。近年解像度が上がり、組織内で一細胞レベルの解析も可能になりつつあり、質量顕微鏡法と呼ばれ病理組織検査等に应用されるようになってきている。この頂いた機会に様々な応用とその現時点での限界について発表議論したい。



主催: 未来医療交流会

後援: 文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム

大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

大阪大学医学部附属病院未来医療センター

大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

協賛: 株式会社島津製作所

連絡先: 未来医療交流会 (大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.medosaka-uac.jp

<http://www.hp-mctr.medosaka-uac.jp/>

MTR